

R4年度 1年国語「現代の国語」(2単位) シラバス

校長		教頭	
----	--	----	--

担当者 金城 仁美 喜友名奈利子
照屋賀代子 当間真知子

科目	単位数	指導学年	使用教科書	学科・学年・学級
現代の国語	2単位(70時間)	第1学年	大修館書店『現代の国語』	普通科・1学年・1～6組

1 学習の到達目標など

学習の到達目標	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	

学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準	評価方法等	考查範囲
1	4	1 明日をひらく	3	【知・技】 (1)ア (3)ア 【思・判・表】 C(1)ア	・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。 ・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 [(1)ア] ・読書の経験が読者の考え方に大きな影響を与え得ることについて理解を深めている。 [(3)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、エッセイを読み、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 [C(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問いに向かう姿勢を振り返り、自力で考えることを大切にしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	一学期末 考查
		4 意見を示す	1	【知・技】 (2)ア・イ 【思・判・表】 A(1)ア	・他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。 ・アイデアを整理し、さらに発想を広げる。	【知識・技能】 ・出されたアイデアのそれぞれの関係を理解している。 [(2)ア・イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、様々な観点から情報を整理し、内容を検討している。 [A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アイデアを出したり表現したりすることを通して、アイデア同士の関係をふまえた様々な観点から粘り強く検討して発想をさらに広げる中で、自らの学習を調整しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
		意見を書く	6	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)イ	・構成や展開を意識して文章を書く。 ・根拠を明確にして、自分の意見を書く。	【知識及び技能】 ・文例および自分の作文において主張と根拠とを指摘できている。 [(2)ア] 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の相互評価および単元の総括をとおして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
	5	2 要点をつかむ	4	【知・技】 (1)カ (2)イ 【思・判・表】 C(1)ア	・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。	【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 [(1)カ] ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 [C(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
	6	3 的確に伝える	6	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ウ	・話し言葉の特徴を知る。 ・聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 [A(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
	7	6 魅力的に伝える	7	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に生かす。 ・読み手が共感できるように、表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い適切な評価を行おうとする。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	

学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準	評価方法等	考查範囲	
2	9	5 論理をとらえる	4	【知・技】 (2)ア・ウ 【思・判・表】 C(1)ア	・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。	【知識・技能】 ・主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。〔(2)ア・ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。〔C(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	2 学期 末 考 査	
		8 他者と交流する	8	【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)エ	・通信文の基本的なルールを知る。 ・相手や場面に応じた通信文を書く。	【知識・技能】 ・通信文に適した語彙を身につけ、使いこなしている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的達成のために媒体の特徴を生かした表現を考えて工夫している。〔B(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・媒体ごとの体裁/特徴や適切な語彙を理解した上で、読み手の目線から最適な表現を試みようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト		
	10	7 資料を駆使する	6	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 C(1)イ	・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	【知識・技能】 ・文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている〔C(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト		
		10 他者を動かす	7	【知・技】 (1)エ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ウ	・提案を検討する際に必要な要素を押さえる。 ・効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫する。	【知識・技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法および表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)エ〕 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト		
	12	11 主張を吟味する	5	【知・技】 (2)エ 【思・判・表】 C(1)イ	・文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。	【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。〔(2)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。〔C(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト		
3	1	11 主張を吟味する	7	【知・技】 (2)エ 【思・判・表】 A(1)イ・エ	・討論の流れと司会者・参加者それぞれの役割を理解する。 ・自分の考えが伝わるよう、論理の流れに注意して発言する。 ・話し手の論理の展開や表現のしかたをとらえ、評価する。	【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。〔(2)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが明確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。〔A(1)イ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分や相手の主張や根拠、理由づけの妥当性を確かめる方法を理解し、積極的に使おうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	学 年 末 考 査	
		23 考えを発信する	6	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 A(1)オ	・異なる意見をもつ人同士が結論を出すための話し合いの工夫について理解を深める。 ・結論の出し方を工夫して話し合う。	【知識・技能】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。〔A(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・結論を出すための話し合いの工夫について理解し、その後の学習活動や学校生活に生かそうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト		
		計	70						

